

# Weaverシリーズ：導入・セットアップガイド

～ 各ツールの個別インストールと環境設定 ～

最終更新：2026/06/30

Weaverシリーズ（MotionWeaver / LayerWeaver / RigWeaver / BatchWeaver）は、それぞれ単体でインストールして使用することが可能です。本ガイドでは、各ツールをあなたのPCで即座に使えるようにするためのセットアップ手順を解説します。

## 1. MotionWeaver（3Dモーション翻訳機）の導入

MotionWeaverは、右クリックメニューやバッチファイルから「どこからでも呼び出せる」状態にすることが、最も効率的な使いかたです。そのためには、Windowsの\*\*「環境変数（PATH）」\*\*の設定が必須となります。

### 1.1 フォルダの配置

- ダウンロードしたフォルダ（`MotionWeaver.exe` や `templates` フォルダ等が入っているフォルダ）を、管理しやすい場所（例：`C:\Tools\MotionWeaver` など）に配置します。
  - 補足（最新のファイル構成）**：以前のバージョンで解説されていた `synonyms.json` は現在デフォルトでは使用されておらず、またマスター・スキーマは `templates/` フォルダ内に `templates_layerbind.json` や `templates_rubberhose.json` として細分化・整理されています。
  - 注意**：フォルダの場所を後で変えると、環境変数の設定をやり直す必要があるため、最初に場所を確定させてください。

### 1.2 【重要】環境変数（PATH）の設定手順

「どのフォルダにいても、コマンド一つでMotionWeaverを呼び出せる」ように設定します。

- システムプロパティを開く**：Windowsキーを押して「環境変数」と入力し、\*\*「システム環境変数の編集」\*\*を選択します。
- 環境変数ボタン**：右下の「環境変数」ボタンをクリックします。
- Pathの編集**：下段の「システム環境変数」または上段の「ユーザー環境変数」の中にある `Path` という項目を探して選択し、「編集」をクリックします。
- 新規追加**：「新規」をクリックし、先ほど `MotionWeaver.exe` を配置したフォルダのフルパス（例：`C:\Tools\MotionWeaver`）を貼り付けます。
- 完了**：すべてのウィンドウを「OK」で閉じます。

### 1.3 動作確認

- キーボードの `Win + R` を押し、`cmd` と入力してEnter（コマンドプロンプトを起動）。
- `MotionWeaver --help` と入力してEnterを押します。
- ヘルプメッセージが表示されれば、設定成功です。これで、どのプロジェクトフォルダからでもバッチファイル等でMotionWeaverを呼び出せるようになりました。

## 2. LayerWeaver（Krita用解析プラグイン）の導入

Kritaでお絵描きをしながら、レイヤー構造を自動解析するためのプラグインです。

## 2.1 配置場所へ移動

ファイルエクスプローラーのアドレスバーに以下をコピー＆ペーストしてEnterを押します。

`%APPDATA%\krita\pykrita`

## 2.2 ファイルを置く

ダウンロードした **LayerWeaver.desktop** と **Layerweaver** フォルダの両方を、この場所にコピーします。  
(※ **LayerWeaver.zip** がある場合は、それを解凍して配置してください)

## 2.3 Kritaでの有効化

1. Kritaを起動し、**設定** → **Krita** を**設定...** → **Python プラグインマネージャー** を開きます。
2. **LayerWeaver** にチェックを入れます。
3. 【必須】 **Krita**を一度完全に終了し、再起動してください。

ツールメニュー内の「スクリプト」に LayerWeaver が登録されていれば正常にロードされています。

# 3. RigWeaver（Moho用リギングスクリプト）の導入

Kritaで作ったパーツを、Moho上で一瞬で組み立てるためのスクリプトです。

## 3.1 配置場所

Mohoのカスタムコンテンツフォルダ内の以下の場所に配置します。 `scripts/tool/we_rigweaver.lua`  
(※ファイル名が `we_rigweaver.lua` のようにプレフィックスが付いている場合も、そのまま `tool` フォルダ内に置いてください)

## 3.2 動作確認

Mohoを起動し、ツールパレット（または「その他」メニュー）に **RigWeaver** が表示されていれば完了です。Krita（LayerWeaver）から書き出したPSDを読み込み、このスクリプトを実行するだけでリギングが完了します。

# 4. BatchWeaver（一括出力ツール）の導入

BatchWeaverは、MotionWeaverの変換プロセスを複数アングル・特定フレーム単位で連続実行するための自動化ツールです。

## 4.1 配置場所

ダウンロードしたパッケージ内に含まれる **BatchWeaver.py** を使用します。MotionWeaverと同じディレクトリ（例：`C:\Tools\MotionWeaver`）に配置したままにしておいてください。

## 4.2 動作確認

1. Python環境がインストールされている状態で、**BatchWeaver.py** をダブルクリック、もしくはコマンドプロンプトから `python BatchWeaver.py` を実行します。
2. BatchWeaverのUI（操作画面）が立ち上がれば成功です。

（※具体的なCSV指示書の書き方やバッチファイル（**RUN.bat**）の生成手順については、「BatchWeaver：まとめて書き出しガイド」を参照してください）

---

## 5. トラブルが起きたら

セットアップで一番つまずきやすいのは「MotionWeaverのパス設定」です。

- **コマンドが認識されない**: フォルダのパスが間違っていないか、再確認してください。
- **Kritaにプラグインが出ない**: 再起動を忘れていませんか？ Kritaは設定変更後の「完全な再起動」が必要です。

もし解決しない場合は、一人で悩まずに作者へ相談してください。設定さえ終われば、あとはクリエイティブな制作に集中するだけです。